

令和5年11月30日会議概要

第1 日時

令和5年11月30日（木）午前9時20分から午前11時25分までの間

第2 出席者

増田委員長、在田委員、池坊委員、森委員、森田委員
警察本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、
警備部長、京都市警察部長、警察学校長、情報通信部長等
《書記 公安委員会補佐室長、公安委員会補佐室室長補佐》

第3 議事の概要

1 委員報告

(1) 第69回警察美術展審査（11月16日）

委員から、「力作揃いであった。厳しい職務や時間の制約の中で、職務外の生活を充実させるということが、職務にも良い影響を与える。その意味でも非常に意義のある取組である。展覧会を楽しみにしている。」旨、発言があった。

(2) 全国公安委員会連絡会議（代表者会議）（11月20日）

委員から、「警察庁組織犯罪対策部長から匿名・流動型犯罪グループの犯罪動向について説明があり強く印象を受けた。その後各府県からの報告や質疑があり、大変有意義な会議であった。」旨、発言があった。

(3) 令和5年度みんなの力で暴力・違法銃器追放京都府民大会（11月21日）

委員から、「京都府暴力追放運動推進センター等の主催で、暴力追放に功労のあった団体や個人に本部長等から表彰が授与された。」旨、発言があった。

(4) 第58回京都府警察拳銃射撃競技大会（11月28日）

委員から、「静けさの中に銃声だけが響く緊張感のある大会だった。拳銃を所持していることの重みと国民の信頼感を警察官一人一人が認識して訓練を続けて欲しい。」旨、発言があった。

2 議題

(1) 舞鶴警察署新庁舎の基本・実施設計について

総務部長から、11月8日に基本・実施設計の契約を結び、舞鶴警察署新庁舎の建設に入ることとなった旨、報告があり、新庁舎の所在地や敷地面積、令和10年度中の供用開始に向けた整備スケジュール等について説明があった。

(2) 痴漢・盗撮撲滅イラスト・動画コンテスト開催結果について

生活安全部長から、現在、内閣府、警察庁等の関係府省が一体となって痴漢撲滅に取り組み京都府警においても各部門が協力して各種取組を推進しているところ、広報啓発活動の一環として、府内の学校に通う大学生、専門学校生及び高校生を対象に痴漢・盗撮撲滅イラスト・動画を公募し、応募のあったイラスト34点、動画7点について部内外の投票の

結果、最優秀作品等を決定した旨、報告があった。

イラスト部門の作品についてはポスター等の制作や情報誌への掲載、動画部門の作品についてはターゲティング広告動画としてYouTubeやInstagramでの配信を行い広く啓発活動に活用していく旨、説明があった。

委員から、「痴漢撲滅という目的ではあるものの、こういった活動を通じて社会参加できることを知り学生の意欲が高まるという効果もあり、ありがたく思う。」旨、発言があった。

(3) 13歳女子中学生に対する面会要求罪（府下初適用）事件等の検挙について

少年課及び山科警察署は、SNSで知り合った少女が16歳未満であると知りながら会いせつ目的で面会を要求する等したとして、11月15日、通信制高校に通う男性を検挙した旨、報告があった。適用罪名のうち「16歳未満の者に対する面会要求等」については、今年の7月施行の改正刑法で新設されたもので京都府警としては初の適用となる旨、説明があった。

警察としては、今後も各部門が各々の捜査活動を通じて押収等した媒体に犯罪性のある動画や写真が保存されている可能性があるという共通認識をもって取り組んでいく旨、説明があった。

委員から、「このような卑劣な犯罪については徹底的な取締りを願う。男女問わず幼少期、未成年の年代での被害が将来の生活に大きく影響を及ぼすことが多くある。また検挙活動とともに社会的に未熟な年代の子供たちが被害に遭わないよう、今後も教育現場や警察が連携して全力で取り組んで欲しい。」旨、発言があった。

(4) 第40回京都府警察現場鑑識競技会の開催結果について

刑事部長から、11月9日、警察学校において窃盗（空き巣）事件を想定した現場鑑識競技会を実施し、上位5位までを表彰することとした旨、報告があり、競技会を通じて明らかになった課題への対策も含め今後も全体の鑑識技能向上を目指していく旨説明があった。

委員から、「今回、浮き彫りになった問題点への対応も含め、よろしく願う。」旨、発言があった。

(5) 第13回自転車交通安全CMコンテストの審査結果について

交通部長から、若い世代に交通ルールについて学び考えてもらう機会にすることを目的として自転車交通安全CMコンテストを行った旨、報告があった。26の中学・高校・大学等から140作品の応募があり、それぞれグランプリ、準グランプリ6作品を決定したもので、12月中、KBS京都のテレビやラジオで随時放送するほか、学校や地下鉄四条駅、イオンモールのデジタルサイネージ等を活用して幅広く広報していく旨、説明があった。

委員から、「年々参加校数が増えている中、参加している生徒が自分達の学校の生徒の作品だということが分かれば更に印象が強くなると思うので、他人事ではないという思いで自転車の交通安全について考える機会になれば、と願っている。」旨、発言があった。

他の委員から、「生活安全部長からも報告があったが、この種のコンテストは、地域社会と警察との有効な接点となっており、それが将来的に組織の人材リソースを充実するような効果を生んでいることからすると、このような地道な活動は、我々が想像している以上に意味のある活動と位置付けられるのではないかと感じる。」旨、発言があった。

(6) 死亡ひき逃げ事件の発生・検挙について

交通部長から、令和5年11月16日京都市伏見区内の府道において発生した死亡ひき逃げ

事件について、緊急配備を実施中、隣接警察署員が被疑者車両を発見し、早期検挙に結びついた旨、報告があった。

(7) 重傷ひき逃げ事件の発生・検挙について

交通部長から、令和5年11月29日京都府舞鶴市内の市道において発生した重傷ひき逃げ事件について、手配を受けて検索中の舞鶴署員が前部に損傷のある不審車両を発見し、早期検挙に結びついた旨、報告があった。

3 個別決裁

(1) 京都府公安委員会に対する審査請求の裁決について（2件）

監察官室訟務官から、運転免許の取消処分を受けた者（1件1名）及び運転免許の停止処分を受けた者（1件1名）から、原処分を不服として審査請求がなされたことに伴い、審査請求の概要等について説明があり、審議の上、審査請求の棄却を決定した。

(2) 公安委員会宛て苦情について（受理2件・処理2件・意見要望1件）

公安委員会補佐室室長補佐から、公安委員会宛の苦情等申出に関して、受理2件、意見要望1件の報告があり、処理方針を決定した。また、過日、受理した公安委員会宛の苦情等申出2件について、調査結果及び通知案の説明があり、審議の上、通知内容を決定した。

4 聴聞等

運転免許関係行政処分について

交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明があり、11件の行政処分を審議した。

5 個別報告

(1) 宇治警察署庁舎新築工事請負契約変更について

会計課長から、令和8年度末の竣工に向けて建替整備中の宇治警察署について、労務単価、建設資材単価の上昇に伴うインフレスライド条項の適用等により、建設工事費の増額にかかる契約変更を行う旨、報告があった。

(2) 損害による慰謝料の一部請求事件の勝訴について

監察官室訟務官から、京都府を被告とする損害賠償請求事件につき、11月15日、大津簡易裁判所が原告の請求を棄却する判決を言い渡した旨、報告があった。

(3) 京都府暴力団排除条例に基づく勧告の実施について

暴力団対策室長から、組織犯罪対策第二課と田辺警察署は、暴力団員に対して利益供与を行ったとして、飲食業者及び暴力団員の男性1名に対し、京都府暴力団排除条例に基づく勧告を実施した旨、報告があった。

(4) 当面の行事予定等について

公安委員会補佐室長から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について報告があった。